

これまでにいただいた意見の概要
(意見交換会の整理結果)

(1) 実施概要

令和3年11月から令和4年1月にかけて、12団体と意見交換を実施

意見交換先	日時	意見例
伊豆山ささえ逢いセンター	令和3年11月8日(月) 午前9時00分～ 午前10時10分	<ul style="list-style-type: none"> 「伊豆山小学校」に子どもを通わせたい、という思いが多数の保護者の意見としてある 新たな土地に住む場合、周りに住んでいる人との関係性を築くのが難しい人もいる
逢初会(伊豆山出身職員)	令和3年11月9日(火) 午後5時30分～ 午後6時45分	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者は地域への思い入れやこれまでの思い出や印象があるから戻りたい気持ちがあると感じる。 子どもの学校のことを考えると、伊豆山に戻れないのであれば、転校も視野に入れている。
泉・伊豆山地域包括支援センター	令和3年11月10日(水) 午後2時30分～ 午後3時40分	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆山は地域の結びつきが強い(協力的) バスがなく買い物に行けない、車がないと動けない
伊豆山浜町内会役員	令和3年11月17日(水) 午後7時30分～ 午後8時30分	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆山にないものは医療機関。医療機関が全く無い。開業医もいない病院も無い。薬局も無い。高齢者が多い地域なのに、空白地域になっている。 医療用品や生活用品の配布方法は、今回のことを教訓に次に向かって準備していくものだと思っている。
伊豆山温泉旅館組合	令和3年11月27日(土) 午後0時30分～ 午後1時30分	<ul style="list-style-type: none"> お客様から熱海の復興を応援しているという言葉はかなり頂戴している状況である。 誘客もよいが、前段として心理的な危機感を回避すべく、安全確保が必要であると感じる。
熱海市消防団第4分団	令和3年12月1日(水) 午後6時00分～ 午後7時00分	<ul style="list-style-type: none"> 団員の中には、詰所の早期建設を望む声がある。 道路は広ければ広いほどよい。消防車など緊急車両が入れるようになればよい。
伊豆山地区連合町内会	令和3年12月14日(火) 午後3時30分～ 午後4時30分	<ul style="list-style-type: none"> 車がある人はよいが、車のない年寄りが、薬が無くなったら命に関わること。病院に行くタクシー代の半分以上を町内会で出そうかという話まで議論した。
伊豆山をおもしろくする会	令和3年12月14日(火) 午後7時00分～ 午後9時00分	<ul style="list-style-type: none"> 情報伝達手段として同報無線、ラジオ、メルマガがあるが、今度はLINEなどがあってもよい。 今回の災害で漁業自体が壊滅的。伊豆山港の漁業を再開させるために、災害のマイナスイメージをプラスに変えていくことも必要である。
岸谷町内会	令和3年12月18日(土) 午後6時00分～ 午後7時30分	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが伊豆山小に行くという前提で、若い人たちも入れるような集合住宅を作ってくれば人口が戻るし、コミュニティが復活できる。
岸谷町内会女性有志	令和3年12月27日(月) 午後3時00分～ 午後4時15分	<ul style="list-style-type: none"> 復興も大事だが、まだ復旧に至ってない。借りていた駐車場が半年で戻ると思っていたが戻らず、駐車場が確保できなければ事業継続を考えなければならない状況になる。
民生委員児童委員協議会 第一地区役員会	令和4年1月18日(火) 午前10時30分～ 午前11時30分	<ul style="list-style-type: none"> 歴史的なことを考えると、後世にいろいろな気持ちを残す、いろいろなことがあると思う。
テンカラセン(伊豆山復興任意団体)	令和4年1月18日(火) 午後6時30分～ 午後8時00分	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆山の復興は、観光客や外の人に入ってもらい立て直していくことにも注力する必要がある。 ビジネスができるチャンスがあれば、伊豆山で何かやりたいという声も聞く。

(2) いただいた意見の整理

意見交換の会議録をもとに市民からの意見と思われる意見を抽出して9分野に分類した。
対象の意見は247件である。

- ・ 避難行動や情報共有について
- ・ 生活環境に対する現状や要望について
- ・ 地区の将来の姿について
- ・ コミュニティに関する問題・取り組み
- ・ 心身の健康に関する問題・取り組み
- ・ 施設運営の現状と課題、要望
- ・ 自宅の再建・生活について
- ・ 日ごろの生活のための移動手段について
- ・ 安全・安心のための事業（ハード面・ソフト面）
- ・ その他

分野	件数	意見内容
生活環境に対する現状や要望について	37	・ 早く日常を取り戻したい ・ 子供の通学について
地区の将来の姿について	32	・ 集合住宅や拠点整備について ・ 地区のまちづくりについて
避難行動や情報共有について	31	・ 有効に伝達できる情報発信（LINEなど） ・ 情報共有手段の確立が必要
関係性の構築に関する問題・取り組み	24	・ コミュニティを大切にしたい ・ 転居した場合、新たなコミュニティになじめるか不安
自宅の再建・生活について	21	・ 自宅再建費用について ・ 地区内に帰還したい
心身の健康に関する問題・取り組み	19	・ ストレスがあり心のケアが必要 ・ 心理的不安や精神的なショックがある
施設運営の現状と課題、要望	19	・ 営業再開に向けた課題について ・ 温泉配管の被害への対応に関する苦慮等について
日ごろの生活のための移動手段について	17	・ 公共交通や道路交通について ・ 電力やライフラインについて
安全・安心のための事業（ハード面・ソフト面）	13	・ 砂防ダム等の防災対策について ・ 捜索活動について
その他	34	-